

# 令和7年度 地域連携推進会議

日時：令和8年2月26日（木）10:00～12:00

場所：グループホーム第2あじさい

共同生活援助事業 外部サービス利用型

グループホームみどり荘・第2みどり荘・第3みどり荘・こすもす・さくら

# 1. 会議の目的・役割

- 現場訪問：構成員参加による会議・見学
- 以下のことを目的に実施
  - 利用者と地域との関係づくり
  - 利用者や事業所に関する理解の促進
  - 事業所の透明性・質の確保
  - 利用者の権利擁護の推進

## 2. 構成員紹介

区分	所属・氏名
利用者	[Redacted]
利用者	[Redacted]
家族	[Redacted]
地域	[Redacted]
地域	[Redacted]
行政	[Redacted]
当事業所	管理者 四井 宏和
当事業所	サービス管理責任者 江藤 祐輔

### 3. 事業所概要

○当事業所：共同生活援助事業 外部サービス利用型

※他に介護サービス包括型 日中サービス支援型

○共同生活援助：地域の中で少人数での暮らし

必要な支援を受けられる住まい

○定員：21名（5ホーム）

※みどり荘・第2みどり荘・第3みどり荘・こすもす・さくら

○現員：20名

○職員体制：管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人5名

みどり荘



第2みどり荘



第3みどり荘 (2棟)



こすもす



さくら



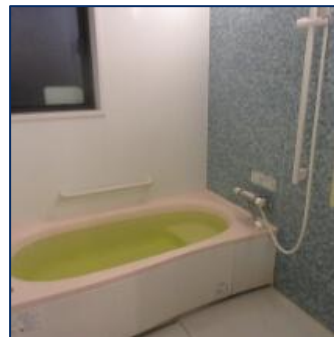
キッチン



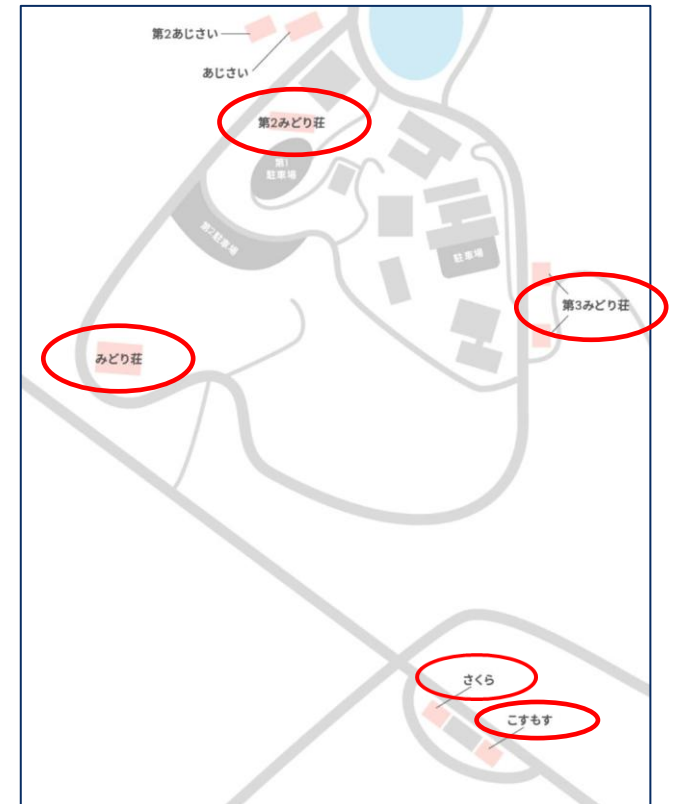
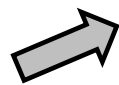
トイレ



浴室



洗面所



## 4. 利用者状況

- 年齢層：19歳～78歳 平均年齢は54歳
- 支援区分：区分がない方（14名）区分2の方（5名）  
区分3の方（1名）  
※区分がなくても利用可能
- 対象利用者：市町村より支給決定を受けている方  
共同生活が可能なる方

## 5. 主な支援内容

- 住居の提供と生活環境の維持
- 日常生活（食事・金銭・健康・就労など）の相談・支援
- 各種行政手続きの代行支援
- 夜間等緊急時対応支援
- 通所・就労先や家族等との連携

## 6. 具体的な支援内容

### ○ 食事支援

- 自立の尊重と適切な提供体制
- 朝食／昼食：各ホーム・利用者個人で準備
  - ※ 困りごとなど随時サポート
- 夕食：外部委託「キッチン花亭」
  - ※ 来年度より各ホームで調理へ移行（県指導監査指摘事項）

## ○ 金銭管理支援

- 意思の尊重と適切かつ透明性の確保
- 通帳管理：希望・依頼による預かり管理  
管理台帳、入出金記録
- 小遣い運用：「出金依頼書」の提出による出金支援  
必要額の確認と計画的な支出支援
- 自立支援：小遣い帳による自己管理を支援  
将来的に自立した金銭管理を目標に支援

## ○ 健康管理支援

- 自立した健康管理と健康的な生活
- 服薬：自己管理、利用者により服薬確認
- 病院受診：利用者自身で受診、通院予定表を提出
- 職員引率：緊急時や高齢等により、受診困難時は職員引率・同行
- 入院：ご利用者、ご家族、医療機関との情報共有・連携
- 特定健診：ご利用者、通所・就労先との連携  
定期的な受診機会を確保
- 協力医療機関：博愛病院（精神科）佐藤医院（内科）  
小野歯科医院（歯科）

## ○ 通所・就労継続支援

- 安定した通所・就労継続と関係機関との連携

- 通所先：就労A型・B型 希望の家

就労A型

ビーホープ

- 就労先：梶原工業 日野建設

マルミヤ 佐藤医院

小野酒造 など

- 相談支援：相談支援事業所「こうせいかん」



## ○ 一日の流れ

時 間	利用者状況	世話人支援
6:00~7:00	起床・洗面	
7:00~8:00	朝食（各自で食事） 通所・就労準備	健康チェック 食事状況確認 生活相談 今日の予定確認 通所・就労の送り出し
8:00~9:00	通所先・就労先へ利用・出勤	
15:00~16:00		外注（キッチン花亭）の食事運搬・管理
16:00~17:00	ホームへ帰宅	
17:00~19:00	入浴・夕食	健康チェック 食事準備 今日の振り返り 生活相談
19:00~23:00	余暇・就寝	

- ・ ご利用者の通所先や就労先等により生活リズムは異なる。
- ・ 休日については、利用者それぞれで余暇を過ごしている。

## ○ 休日・余暇支援

- 自主性の尊重と充実した生活の確保
- 主な過ごし方：ご利用者自身で計画 必要に応じて支援・助言  
ボウリング・買い物・病院受診など  
鹿児島旅行計画中（令和8年度）
- 外出／外泊：「外出・外泊届け」の提出・確認

## ○ 年間の主な行事

- 花見会（4月）
- 新年会（1月）
- 一泊旅行（年1回）



---

## ○ 夜間等緊急時対応支援

- セキュリティ会社との連携と安心した生活の確保
- 会社名：ALSOK株式会社
- 設備内容：ホームセキュリティ
- 対応時間：24時間365日対応
- 緊急時連絡先：各ホームに掲示

## 7. 業務継続計画（BCP）

○ BCP：感染症や自然災害時、サービス提供の継続体制の構築  
（令和6年度から義務化）

○ 計画策定：感染症・自然災害を想定した計画を整備

○ 訓練実施：机上訓練とシミュレーション訓練の定期的な実施

▪ 感染症～机上訓練（年1回実施）

シミュレーション訓練（年2回実施：嘔吐物処理）

▪ 自然災害～机上訓練（年2回実施）

シミュレーション訓練（年1回実施：夜間想定）

避難訓練：障がい部門（毎月1回）各ホーム（年2回）



## 8. 障害者の虐待防止

○ 障害者虐待防止法：障害者の権利擁護、虐待の早期発見と防止を目的  
(平成24年10月1日施行)

○ 虐待防止の取り組み

・ 指針及びマニュアル整備：職員へ周知

・ 虐待防止チェックリスト：年2回実施（2月・8月）

・ 法人及び事業所内研修：年3回実施

法人全体 テーマ「身体拘束適正化の推進」

事業所内 テーマ「虐待に繋がる不適切なケア」

テーマ「身体拘束廃止・防止」

※外部研修にも必要に応じて参加

## 9. ヒヤリハット・事故報告

○ヒヤリハット：「ヒヤリ」「ハッ」とする事例を共有・改善することで事故の未然防止

○ヒヤリハットの取り組み

- ・ 現状：把握と共有が口頭や情報共有アプリ「ライン」が中心
- ・ 課題：報告書の記録や整理が不十分
- ・ 今後：来年度は記録様式見直し及び共有体制の再構築

○ 令和7年度事故報告

- ・ 事案：自転車転倒1件・通勤中転倒1件・浴室内転倒1件発生  
いずれも大きな怪我には至っていません。

## 10. 経営状況（財務分析）

	令和5年度	令和6年度	目安
・収益性 (経常増減差額比率)	△3.3%	3.6%	7~10%
・機能性 (利用率)	84.3%	85.3%	95%以上
・費用の適正性 (人件費率)	64.5%	53.3%	60~65%
・安定性 (純資産比率)	94.7%	95%	70%前後

# 1 1. 今後の課題

## ○建物の経年劣化

現状：3ホームは30年以上経過し老朽化が顕著

今後：「安全」と「生活環境の安定」を最優先

修繕の継続に加え、現在ホーム移転進行中

## ○外部サービス利用型への統合

現状：財務状況悪化による事業継続と人材不足による配置が困難

日中は就労系を希望するニーズが増加

今後：介護型を廃止し、外部サービス利用型へ統合

安定的な継続的な事業運営を目指す

## 最後に

本日はご多忙の中、貴重な時間をいただき、誠にありがとうございました。

- ・ 来年度は、「外部型への統合」や「食事提供の在り方」、「建物の経年劣化への対応」など、当事業所にとって大きな課題に向き合う重要な転換期となります。
- ・ 利用者の皆様が安心して生活を送ることができるよう、今後も皆様とのつながりを大切にし、連携をさらに深めてまいりたいので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・ 来年度も、2月頃に会議を予定しています。より充実した内容になるよう工夫・改善を重ねてまいりますので、引き続きご理解とご協力の程お願い申し上げます。